



ほ場間で生育量にバラツキ大きい！ 茎数が不足しているほ場では 浅水管理等を徹底し、早急に茎数確保を！

◎ 生育概況と技術対策

平坦部「雪若丸」の生育（6月10日）

項目	調査値	平年値	平年比・差	(概況)
草丈	23.7 cm	25.5 cm	93	短い
茎数	230 本/m ²	240 本/m ²	96	やや少ない
葉数	6.5 枚	6.4 枚	0.1	平年並み
葉色 (SPAD)	36.1	37.0	-0.9	平年並み

(農業技術環境課調べ)

6月10日現在の生育は、平年に比べ草丈は短く、茎数はやや少なく、葉数は平年並み、葉色はやや淡くなっています。

「雪若丸」は6月中の茎数確保がとても重要です。圃場を確認し、速やかに以下の対策を行いましょう。

(1) 引き続き、浅水管理で分けつ促進！茎数確保！

引き続き、日中止水、夜間かんがいを徹底し、水深2～3cmの浅水管理で分けつを促しましょう。

土壌の異常還元（ワキ）がみられた場合は、田干しや水交換を行い、根圏環境の改善を図ります。

極端に茎数が不足している場合は、窒素成分量1kg/10a程度を補完的に施用しましょう（施用した場合は、追肥量を減肥します）。

(2) しっかり有効茎数を確保したら直ちに作溝・中干し！

「雪若丸」は、6月中（8～9葉期まで）に有効茎数（560～580本/m²）を確保することが適正籾数確保及び高品質・良食味米生産のポイントです。

有効茎数を確保できたら、直ちに作溝・中干しを行いましょう。

**生育に応じたきめ細かな栽培管理で、
おいしい「雪若丸」を育てましょう！**